

奈良県観光戦略本部

近鉄奈良駅・新大宮駅・JR 奈良駅周辺エリア部会（第3回）

全体要旨

日時：2025年7月1日（火）14:30～16:30

場所：アクティ奈良 6F スタンダードルーム

1. 現状と課題認識

かつて賑わいのあった新大宮エリアは、市役所の移転や各種規制により夜の街としての活気が低下し、家族連れや地元住民が近寄りにくい雰囲気となっている。呼び込みや違法営業、治安の不安、地域外消費の流出などが指摘されており、安心して楽しめる健全な飲食街づくりや、自治会・経済団体・行政など地域全体の協働が必要とされている。

2. 課題への意見と提案

ゴミ箱の設置については、回収・管理・費用負担などを含めた仕組みづくりが不可欠。また、「夜の街」の整備は見た目だけでなく、住民・観光客双方が安心して楽しめる空間づくりが重要。夜の催しやイベントは、単発ではなく、歴史や土地柄を活かした継続的な催事にすることで、地域の魅力向上が期待される。継続的な実施のために、地元の人も参画し、楽しめるような催事が望ましい。

さらに、地元の伝統芸能や文化イベントを観光資源とし、行政や文化団体と連携した企画の推進、飲食や酒蔵見学との組み合わせも検討されている。外国語対応や SNS 発信を強化し、若年層・女性・インバウンド観光客が気軽に、安心して楽しめるエリアへの転換も求められている。

3. 治安・ブランド・街並み

治安維持や呼び込み排除の徹底が不可欠であり、安心して飲み歩ける飲食街を実現するには地元住民と行政、警察の連携が必須。街のブランドづくりには、夜の美術館や伝統音楽コンサートなど文化体験型イベントの開催、門構えやネオン・アーケードなど外観の工夫による“ワクワク感”の演出も必要とされている。

4. ホテル・インバウンド観光との連携

高級ホテルだけでなく、エリア全体が賑わうためには中堅ホテルの集積や、ホテルフロントでのナイトマップ配布など積極的に観光消費を促し、観光客が“街に出て飲み歩く”仕組みづくりが重要。インバウンド向け体験型ツアー（バーホッピングやスナック巡り）の造成や SNS・Google Maps を活用した情報発信も提案された。

5. 今後の方向性

「新大宮＝なんとなく暗い、怖い」というイメージを払拭し、国内外の誰もが立ち寄りたくなる“奈良の夜”への転換が必要。ローカルな飲食体験や居心地の良さ、案内のしやすさなどを強調し、健全さと楽し

さを両立する取り組みが必要とされている。

奈良県観光戦略本部会議

近鉄奈良駅・新大宮駅・JR 奈良駅周辺エリア部会（第3回）

議事概要

日 時：令和7年7月1日（火） 14：30～16：30

場 所：アクティ奈良 6F スタンダードルーム

出 席 者：【委員】

江口英一委員（オンライン参加）、大久保泰佑委員、金田充史委員、高橋一委員、竹田博康委員、豊澤孝彦委員、中野聖子委員、平井宗助委員

【オブザーバー】

小山新造氏、増井義久氏、森村雅一氏

計11名【五十音順】

【議題1】報告（令和6年度混雑対策事業報告・令和7年度ナイトタイムエコノミー推進事業計画）

▽事務局報告(1) — 令和6年度事業について

【事務局：奈良県観光局奈良公園室】

昨年度実施した第2回部会でも簡単にご説明させていただきました、令和6年度観光庁補助を活用して実施した4つの取組について報告。

- ・奈良公園バスターミナルへ外国語対応が可能なガイドを設置し、推奨ルートへの誘導事業を実施。案内した人の8割を推奨ルートへ誘導できた一方、アンケート調査の結果、滞在時間の制約から最短ルートを通行したいと非推奨ルートを通行される方も確認された。
- ・観光客の集中している奈良公園エリアから周辺エリアへの送客事業を実施。外国人インフルエンサーを招聘したうえで、西ノ京やならまちといった奈良公園周辺エリアのモニターツアーを実施し、魅力発信動画の作成を行った。ホームページやサイネージといった媒体を利用して情報を発信中。今後も作成した動画を用いて継続的に魅力発信を実施する予定。
- ・奈良公園エリア内の各所に人流を関知するセンサーを設置。加えてスマートフォンの位置情報の補足により、人の量や流れを計測し、混雑状況のリアルタイム表示により混雑エリア、導線の人流分散を図った。結果として、時間的制約や来訪の目的がシカとの触れあいや東大寺大仏殿などに集中していることから、人流分散について一定の効果は見られなかった。
- ・IoTを活用したスマートゴミ箱の設置によるゴミ対策事業を実施。実証実験として最新技術を搭載したスマートゴミ箱を奈良公園バスターミナル周辺に設置。缶・瓶・ペットを回収する非圧縮型のゴミ箱と燃えるゴミ・燃えないゴミそれぞれの圧縮型ゴミ箱（センサーにより一定以上ゴミが貯まった際に圧縮を行うもの。同容量のゴミ箱5回分のゴミを保有可能）を3個ワンセットで設置して廃棄物やポイ捨てゴミの状況について調査を行った。結果、スマートゴミ箱の設置前後でポイ捨てゴミが約10%減少、特に公衆トイレにポイ捨てゴミが集中するといった現状が確認された。スマートゴミ箱については買い切りであり、県の所有物となるため、今回ポイ捨てゴミが多く見られたトイレ周辺にスマートゴミ箱を移設し、引き続き実証実験を行う予定。

▽事務局報告(2) — 第2回部会（前回）の主なご意見について（振り返り）

【事務局】

第2回部会における主なご意見について事務局よりご報告。

※詳細は第3回部会資料及び第2回部会の議事概要を参照

▽事務局報告(3) — 令和7年度内ナイトタイムエコノミー推進事業について

【事務局】

今年度奈良公園室として実施予定のナイトタイムエコノミー推進事業について大きく3つ説明。

- ・奈良国立博物館や県立美術館と連携したナイトタイムコンテンツの造成事業を実施予定。夜間に人を呼び込むためのコンテンツとして博物館・美術館等の夜間開館に絡めたコンテンツを実証実験的に実施いたします。第2回部会の中でご意見をいただいた奈良の文化的価値を伝える音楽コンテンツとの連携や、バーなどと連携した夜間の観光消費につながるコンテンツを想定している。
- ・OTAと連携した奈良公園ナイトタイムプランディング動画の造成事業を実施予定。奈良公園の夜の静けさなどまだ知られていない奈良公園の朝・夜の魅力をPRする動画を作成、インバウンド観光客向に展開する予定。
- ・奈良公園バスターミナル2Fスペースを活用した飲食・観光案内機能の再整備事業を実施予定。今年度中にバスターミナル2Fでオープン予定の飲食スペースと連動し、バスターミナルをナイトタイムエコノミーの活動拠点として整備する事業の展開を予定しています。

▽質疑・ご意見 一 事務局報告事業に対して

【委員意見】

- ・ゴミ問題については喫緊の課題だと認識している。ゴミ箱の設置だけでなく、「ゴミが回収できる仕組みづくり」という観点から、改善や検討に務めていただきたい。持続可能な観光地とするために、観光客から何か費用をいただくななど、費用負担の面でもなんらかのアイデアがあれば良い。
- ・ナイトミュージアムに関して、ムジークフェストとの連携など、観光分野・産業分野・文化振興の3分野で横串が通せるような考え方でコンテンツ造成をすすめて欲しい。奈良ならではの音楽コンテンツの実施にあたっては雅楽・能楽は外せないコンテンツであると思うので、それらを軸に膨らませていくのが良い。
- ・バスターミナルの再整備・利活用にあたっては『奈良公園バスターミナル』の名称変更についても考慮したうえで再整備をすすめて欲しい。
- ・ナイトタイムエコノミー事業については、しっかりとターゲティングをしてすすめていただきたい。現在来訪している観光客の滞在時間を延ばすというのは難易度が高いので、どういった人を呼ぶのかペルソナ設定をしっかりとすることが重要。
- ・ナイトタイムブランディング動画の作成については、奈良公園の夜のイメージを壊さないよう丁寧にすすめていただきたい。
- ・滞在時間を1時間、2時間伸ばすだけで夕食を奈良で食べてもらえるなど、消費金額も上がってくる。今来ている観光客を少し長く居てもらうという取組のほうが効果的だし、経費も抑えられるように思

う。

- ・OTAを活用した事業について、トップページからの動線がわかりやすくないとページビューは伸びない。動画やページをつくるだけでなく、どうやって訴求していくかをよく考えて欲しい。
- ・奈良のコンテンツとして、お寺さんというのは強力なコンテンツであり、延長して開けていただけるのは効果的だと思うが、日中の観光客が多すぎて夜間の対応まで手が回らないという声も聞いている。また、継続的に延長開館しなければ、一時的・イベント的に実施するのではあまり意味が無い。夜に催しを実施するのであれば、旅行者だけでなく、地元の人も楽しめて継続的に実施していくけるようなものを考える必要がある。

【議題2】新大宮駅周辺エリア ナイトタイムエコノミーの推進と地域課題について

▽新大宮エリアの現状・課題認識 — オブザーバーからのご意見

【オブザーバー】

- ・かつて大宮エリアは奈良随一の繁華街だった。しかし奈良市役所の移転や風営法の規制による影響で街がどんどん寂れています。昔は市役所へ寄ったついでに散髪や食事をして帰るサラリーマンが大勢いたが、今は人が来ないため、店が閉まり、街全体が暗くなってしまい、家族連れなどが近寄りにくい怖い雰囲気になっている。再生には、自治会・経済団体・飲食組合など、地域全体での協働が欠かせない。規制緩和や条例見直しも検討していただきたいと感じている。
- ・繁華街であり夜の店が多いため呼び込み（キャッチ）がたくさんいる。新型コロナウイルス以後、来訪者が減っても変わらず相当な数が立っている。“子連れでは安心して行けない”との声も実感する。観光

客に依存するのでは限界があり、県内消費をいかに上げるかというのを検討してほしい。県内の人人が積極

的に地元食材や地元の店を使う流れを作っていくべきだと思う。

- ・夜の街＝風俗店があるから人が集まるというのではダメだと思う。飲食店を中心に“安心して人が集まる雰囲気づくり”が重要だと考える。今できることとしては、怖い印象を与えていた呼び込みが減れば客足も戻るはず。警察・行政とも連携して法的な力も利用していただきながら安心できるまちづくりを目指したい。

▽質疑・意見交換

► 新大宮エリアの現状・課題と規制緩和について

【委員意見】

- ・若い人の飲み会文化が変化してきていることや夜のお店のターゲットである会社自体の数が減っている現状を鑑みると、法的な規制のかからないお店を呼び込み、ターゲット層を変えていくのも一つの手である。規制緩和は可能かもわからないし、出来たとしても時間もかかる。消費者としてとてもアグレッシブな40、50代の女性や若い世代をターゲットにしたお店が増えたら活気も出ると思う。

【オブザーバー】

- ・私たちも健全なまちづくりを目指したいと思っている。しかし、又貸しによる不当な営業が増えているという話も聞いており、法的にきちんと認められた事業者がきちんとした運営をするという体制づくりのために規制を見直して欲しいというのも規制緩和を求める理由の1つである。呼び込みが多く雰囲気が悪くしている問題も含めて警察や行政の力を借りながら解決していきたいと考えている。

【委員意見】

- ・新大宮を訪れることが多いが、確かに客引きの数が非常に多く、風紀が悪化しているように感じる。法規制にかかるお店により活性化するというのは一理あるが、いわゆる一等地と呼ばれる場所にも空きテナントが多いのが現状であり、出店を検討していたプロの飲食チェーン店であっても夜の状態を見たら出店を敬遠する状態である。
- ・県中南部の大和八木駅周辺エリアは近年すごく活気がある。八木駅周辺のように地元の人や若い人が安心して訪れられるような街にしていくべき。外からお店や人を呼んでくるより先に風紀の悪化について丁寧に対応していくべきだと思う。
- ・オブザーバーの皆さまとして、規制が緩和できた場合（法的な問題を考慮しないで良い場合）新大宮エリアをブランディングやターゲットなど含めてどのような街にしていきたいなどイメージはあるか

【オブザーバー】

- ・新大宮駅の乗降客は一定数いるにも関わらず、消費行動が無く活気がない。人が集まって駅のまわりで飲み食いしてもらえる、活気のある街になって欲しい。
- ・観光客が新大宮のホテルに泊まって、夜には新大宮のお店でご飯を食べてもらえるような流れができると良いと思っている。

【委員意見】

- ・部会のもともとの考え方として、現状奈良公園周辺エリアに局所的に集中している人にもう少し広いエリアに足を伸ばしていただき、滞在時間を延ばしてもらおう、お金を落としてもらおうという考え方があったと思う。そういう意味で大宮は非常に重要なエリアであり、現状奈良公園に多数来訪している

インバウンド観光客が集まれる拠点を新大宮につくれれば、街の活性化や観光需要をもって規制緩和にも繋げていけると思う。どんな地域にしたいのかという議論があってその一環として規制緩和もあるという風に考えていくのがよい。

▶ 新大宮エリアの今後について（インバウンド観光やホテル・旅館との連携）

【委員意見】

・インバウンド観光客の話があったが、そもそも新大宮エリアのターゲット層としてインバウンド観光客は対象となるのか。新大宮エリアに増えている高級ホテルは、賑わい創出や飲食街活性化の面では親和性は高くない。むしろビジネスホテルが多くあれば“街に出て飲み歩く客層”として繁華街との親和性は高いと思う。JR 奈良駅周辺エリアはビジネスホテルが多いので夜に活気がある。ホテルのランクとのミスマッチもあると思う。近鉄奈良駅やJR 奈良駅周辺に宿泊する観光客が新大宮駅へと1駅分だけ移動するというのが現実的かどうかを検討する必要がある。

・JR 奈良駅、近鉄奈良駅周辺エリアにたくさんあるホテルと連携し、インフォメーションやコンシェルで積極的に案内すれば十分足を運んでもらうことは可能。新大宮という繁華街が集まった場所があるよとお客様を安心して送り込める場所であるかが重要。海外の方がラウンジやスナックなど、日本の夜のコンテンツに興味を示すのであればビジネスチャンスはある。

・東京ではバーホッピングなども既に商品化されており、それらを繋ぐプラットフォームを運営している方もいらっしゃる。

・語学のできる大学生もたくさんいるので働き手は確保できると思う。まずは1軒ずつで良いので、外国

語対応ができるスナックやラウンジがあればホテル側も紹介しやすいし、足を運んでもらえるようになれば新しいビジネスにつながっていく。

・海外の方はカラオケが好きな方が多いので、スナックはカラオケもできるし、海外向けのコンテンツとして可能性があるのではないかと思っている。

・様々な翻訳ツールなどもあるので、新しいお店を呼んでくるだけでなく、既存のお店が語学対応できるよう少しづつ環境整備していくことで可能性はあると思う。ただ、安心して行けるのかという治安的な問題は地元の人にとっても重要な問題なので別で対応が必要。

・新大宮は海外の人に認知されていない。逆の立場になれば見ず知らずの場所に移動するのは怖い物だと思う。日中、奈良公園周辺は来訪者によりパーキングがいっぱいだが、1駅隣の新大宮駅周辺では空いている。そういう情報ももっと観光に活かしていけばよいと思う。ナイトマップなども作成するならば、そういう情報もきっちり拾い上げて作成してほしい。

・横浜の中華街などは、道ごとに門構えが設けられており、“繁華街に来た”という感じがする。何か楽しむものがあれば案内する方も来訪者もわかりやすく、行ってみようかなという気持ちになる。街並みからわくわくする雰囲気をつくれると良い。

・全国にはスナックをはしごするガイド付きツアーやバーhopppingのツアーなどが既にコンテンツとして存在する。価格設定も高額であり、ラグジュアリーホテルに泊まった外国人などが参加している。

外国語が話せるガイドがついて安心して体験できる体制であれば、外国語を話せなくても問題ないし、口コミで新大宮の認知が広がっていくと思う。一度そういうコンテンツを持っている方を呼んでツア

ーを組んでもらうというのも面白い。

▽閉会と今後の対応

【事務局】

・いただいたご意見は責任を持って整理・検討し、今後の政策や事業へ反映していく。風営法に関しては、条例の所管である奈良県警察本部とも協議を進めていく。今年度事業の推進、次年度以降の事業計画策定のため、引き続きご協力をお願いしたい。

以上